

【分析結果】

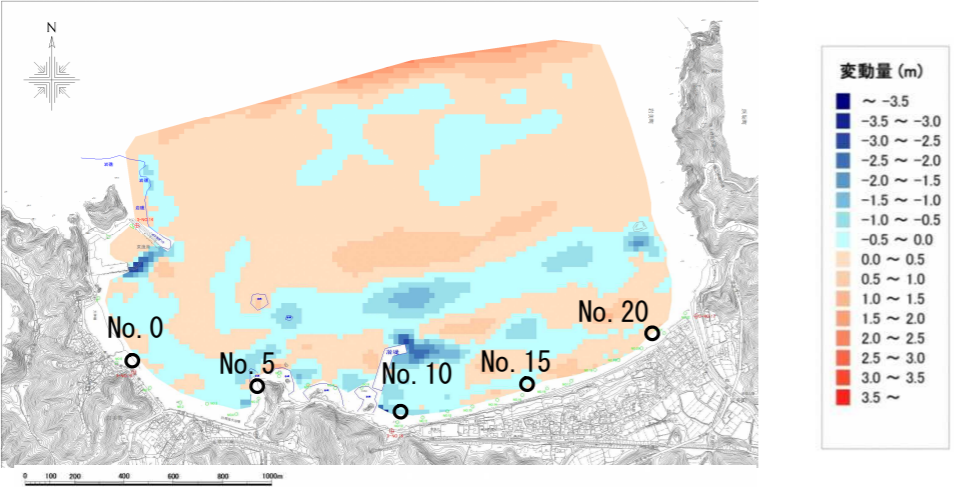
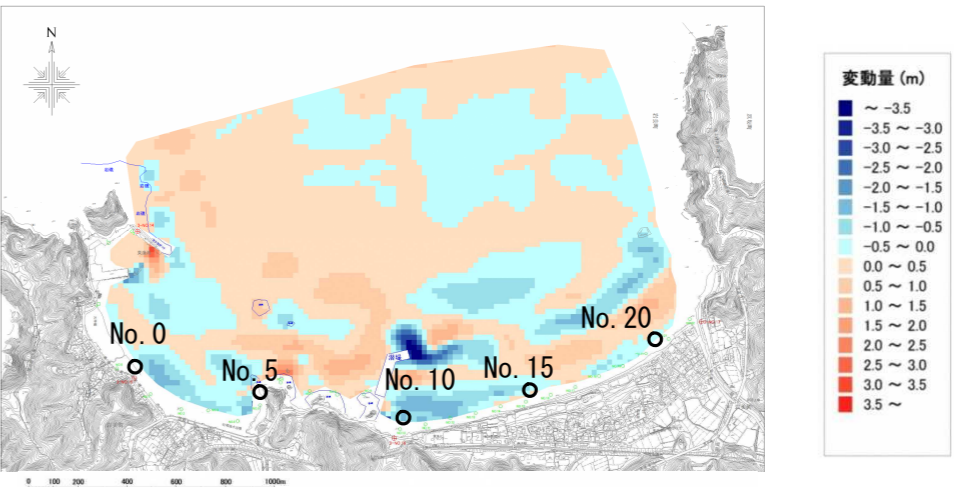
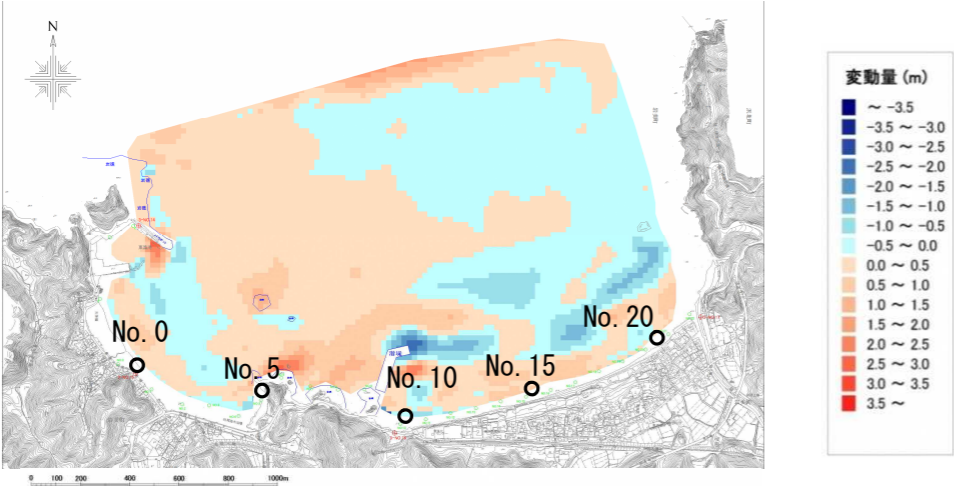
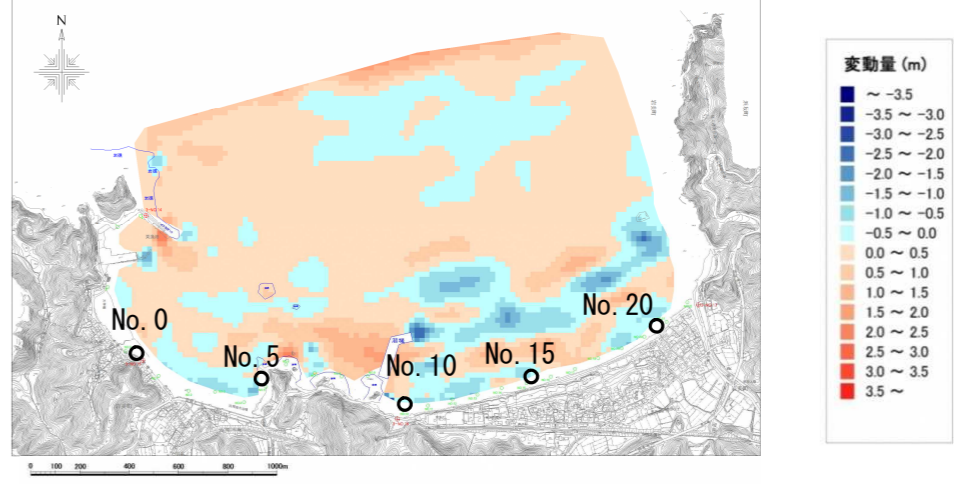
長期的分析（夏季後）	長期的分析（冬季後）
平成 18 年 9 月から平成 25 年 9 月(7 年間)	平成 18 年 9 月から平成 26 年 3 月(7.5 年間)
	
<ul style="list-style-type: none"> 東漁港および潜り突堤の北部で 3m 程度の侵食傾向となっていた。 潜り突堤（No.10）の東側及び沖側の先端部で地盤の低下傾向を示した。 山の張り出し部（NO.5～NO.10 の間に存在）の沖側は堆積，侵食が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> 東漁港付近で 3.0m 程度の堆積がみられた。 潜り突堤（No.10）の東側及び沖側の先端部で地盤の低下傾向を示した。 東漁港の港口部の堆積傾向が見られる。
平成 18 年 9 月から平成 26 年 9 月(8 年間)	平成 18 年 9 月から平成 27 年 3 月(8.5 年間)
	
<ul style="list-style-type: none"> 東漁港付近で 2.5m 程度の堆積がみられた。 No.5～No.10 の岩礁帯では，2.5m 程度の堆積がみられた。 潜り突堤の東部で 2.5m 程度の堆積がみられた。 東漁港の港口部の堆積傾向が見られる。 潜り突堤の沖側を越えて堆積域が東側に伸びる状況が確認できる。一方，東側海浜から西側への堆積域の移動は確認できない。 	<ul style="list-style-type: none"> 東漁港および No.5～No.10 の岩礁帯で，2.5m 程度の堆積傾向がみられた。 東漁港の港口部の堆積傾向が見られる。 潜り突堤（No.10）の東側及び沖側の先端部で地盤の低下傾向を示した。 西側海浜に比べて東側海浜の沖側は，時期による侵食，堆積の傾向が変化している。

図 2.3.8 標高差分図（平成 18 年 9 月を基準とした長期的分析）